

と、芝方面に根據する東京鐵工組合及東京電氣及機械鐵工組合なるを看取するに難からず。而も後者は昨年來芝浦製作所を初め幾多の雇工に参加しお旗本格の勢威漸く影薄からんとする時、江東の本據たる紡織労働組合就中押上支部が有する地位亦描き來るに難からず。且組合の素質的考察に於ても、鐵工及機械工の稍もすれば急湍の如き行動に出で易きに對し紡織工は淀める水の如きを通有性とする爲、例へば友愛會の經濟事情を以てするも紡織組合は自ら深き信頼を托されたる、察するに難からず。

## 二 紡織労働組合

紡織労働組合は、友愛會江東聯合本所支部の後身たり。本所支部は大正三年十一月初めて支部として承認され爾來東京モスリン及び富士瓦斯紡績會社押上工場に漸く深き根柢を植へ、兩工場を左右の支柱として發達し、江東聯合會の中堅たるに到る。特に富士瓦斯紡績押上工場に於ける組合勢力の隆々たる伸暢は我邦紡績工場に於ける異彩たり。大正六年七月に敢行したる七日に渉る雇工も組合の發達を沮害する結果を見ることなく、數回の労働條件改善の要求も常に有利なる解決を見たり。友愛會が大正八年度全國大會に於て、組合各部の地域的團結を職業別組合に改むるの議を採るや江東聯合會の中、先づ三田土護謨を中堅として護謨工組合の成立を見、次で紡織労働組合の組織成れり。紡織組

合は富士紡押上工場職工の押上支部と、東京モスリン職工の吾孀支部より成り、前者に於て約一千七百後者に五百、合計二千二百の組合員を有し、本部事務所を押上町一五五に置けり。組合は理事長稻葉平太、主事佐藏吉徳を主腦として理事制を取り、富士瓦斯紡績押上工場職工にして紡績組合本部役員たりしもの左の如し。

理事 佐藏吉徳、高橋鐵藏、楨田源太郎、堀金一郎、春日幹、大橋平吉、柴山玉吉、遠藏キヨ、  
宮下セン、野村ツチノ、藤島トミエ、

而して押上支部は理事大橋平吉を支部長、同柴山玉吉を幹事長とし左記を常任役員とす。

### 男子部

庶務係	三浦庄作	永根龍	永作博	堀江爲吉
會計係	折原伊三郎	秋山直次郎		
會計監查役	大平直美	山田常次郎	淺草專太郎	前澤直平

### 婦人部

庶務係	藤島タツエ	相浦ミト	畠山キヨミ	小山トイ
-----	-------	------	-------	------